

愛知県公立高等学校PTA連合会

高P連だより

号外
2013

名古屋市中区新栄一丁目49番10号
愛知県教育会館6階
TEL: <052>261-5886
FAX: <052>241-7048
http://www.aichikoupren.org
【印刷】
手島印刷株式会社
TEL: <052>522-1635



新入生保護者の皆さまへ

愛知県公立高等学校PTA連合会

副会長 井川 和英

お子さまの高等学校へのご入学、誠におめでとうございます。保護者の皆様には、今までより広い世間、多くの人たちとの関わりの中に第一歩を踏み出されたお子さまの姿は、とても輝かしく映ら

心を耕しながら成長する時期

高校時代は、学業・運動・趣味、人間関係様々な経験を通して、多くを吸収する大切な時でもあります。そこで大きな壁に当たる場面もあります。時には目標を見失う事にも遭遇します。これからの社会は四次元の世界であるとも言われています。アトムを生んだ手塚治虫さんが当時、携帯電話、ロボット、そして動物と話が出来る時代が来ると言っておられたそうです。しかし動物との話はまだ無理なような気がしますが、ここでの意味は、愛する事や好奇心を持つ事、相手の身になって使う言葉が、本来の会話ではないかと思わ

れてのことだと思えます。 校生活の中で、自ら見出し、心を耕し、高め、新たな目標に向かってどんどん成長するそんな時期でもあります。

見てもらえている事がお子さまの栄養源

保護者の皆様におかれましては、今までの義務教育とは違い、お子さんが自ら判断しなければならぬ事も出てきます。そのような広い世界の一步が高校生活だと思っています。家庭教育・学校教育・社会教育の三つの教育がバランスよく成り立っていくことが理想ではありますが、食事や挨拶、そして常にどこかから見てもらっているという親心が、お子さまを安心させる大切な栄養源のような気がします。 私ども県高P連も豊かな活動を通して、少しでもお役に立てるよう努めてまいります。今後もお力添えをいただけますよう、心よりお願いいたします。



保護者の皆さまへ

愛知県教育委員会

委員長 平石 賢二

このたびは、お子さまの高等学校への合格、誠におめでとうございます。保護者の皆さまのお喜びもひとしおのことと存じます。また、お子さまは入学式を目前に控え、これから始まる高校生活への期待と希望を胸に、充実した日々を送っておられることと拝察いたします。

青年期は、子どもからおとなへの移行期であり、身体の発達や新しい環境などさまざまな変化に対処しながら、「新たな自分らしさ」を築いていく時期です。その中で、アイデンティティの探求や、親子関係における自立、友情と恋愛、進路決定、職業決定などの課題に積極的に取り組み、心身ともに成長して欲しいと思います。

さて、教育委員会では、平成二十三年六月に「あいちの教育に関するアクションプランII」を策定し、「道徳性・社会性の向上」「キャリア教育の充実」「確かな学力の育成」「生涯学習の

充実」を重点目標として、家庭・地域・学校の連携により地域社会全体で若者を育む取組を推進しております。各学校では、それぞれの特色を生かした魅力ある学校づくりに努めています。保護者の皆さまにおかれましては、各学校における教育活動への格別の御理解と御支援を賜りますとともに、お子さまの高校生活について関心を持っていただき、これまでに増して、温かく成長を見守り、支えていただくしたいと思います。 また、PTAの研修会等を積極的に御活用いただき、地域全体での青少年の健全育成に一層のお力添えをお願い申し上げます。 最後にになりましたが、お子さまの心身の健やかな御成長と、親子の絆がさらに深められることを御祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

平成24年度 地区研修会 実施概要

平成24年度に実施された県内各地区の活動状況は下記の表のとおりです。
毎年各地区においては、多くの会員の参加を得て、講演会、研究発表、シンポジウム等の内容で地区内の会員の親睦を図り、各単位PTAの活動状況を見直し、会員相互の意思疎通の場として、盛大に開催されております。

東三河		西三河	知多	尾張	名 瀬			地区名
					(尾 東)	(名 南)	(名 北)	年月日
24・11・20(火)	24・5・11(金)	24・10・12(金)	24・10・24(水)	24・5・11(金)	25・1・23(水)	25・1・18(金)	25・1・25(金)	
講演：「ブラックサンダー物語」 講師：有楽製菓株式会社 代表取締役社長 河合 伴治	講演：「今求められる『絆』とは何か ―防災・「ミニ」の拠点としての学校―」 講師：山梨県立大学人間福祉学部 教授 堀井 啓幸	講演：「東北被災地 避難所運営の光と影」 講師：元石巻市立鹿妻小学校避難所 本部長 浅野 仁美	講演：「忘れない く動くこととしてつながる」 講師：タレント、書家 矢野きよ美	講演：「トップアスリートに学ぶ スポーツ健康法」 講師：中京大学スポーツ科学部 教授 湯浅 景元	講演：「人生の転機と親の役割」 講師：俳優、脚本家、映画監督 佐藤 二郎	講演：「いかに生きるか」 講師：奈良大本山薬師寺長老 安田 暁胤	講演：「折れない心の育て方〜自己肯定感・ 他者信頼感を高める動機づけ〜」 講師：株式会社エスエスケイ 代表 麓 聡一郎	
ライフポート とよはし	ウエステージ豊橋	刈谷市 産業振興センター	輝きホール 武豊町民会館 ゆめたろうプラザ	稲沢市民会館	東郷町民会館ホール	名古屋市 天白文化小劇場	ルブラ王山	会場

保護者の皆さまに

愛知県教育委員会 高等学校教育課

県

教育委員会では、お子さまが新しい環境に適応し、有意義な学校生活を送ることができるよう、保護者の皆さまと連携して学校教育の充実に努めております。

確かな学力について

今年度の入学生から、新しい学習指導要領（平成二十一年三月告示）が完全実施されます。生徒の学習意欲の向上を図り、確かな学力を身に付けさせるため、各学校では特色ある教育課程を編成し、発表やグループ討議、論述など言語活動を取り入れた授業を行うなど、さまざまな工夫をしております。

また、生徒の学力を向上させるためには学習習慣の定着は欠かせません。御家庭でも、お子さまが自律的な学習習慣を身に付けるよう御協力いただきたいと思っております。

教育相談の充実について

学校という社会の中には、さまざまな人間関係があり、人との関わりの中で、他者を認め、他を思いやる心を育んでいきます。しかし、その中で生徒は、新しい環境に適応できなかつたり、人との関わりで思い悩んだりすることも多くあります。

県教育委員会では、心の専門家である臨床心理士をスクールカウンセラーとして学校に配置するなど、教育相談の充実を図っております。生徒や保護者の皆さまは、心の悩みや不安を気軽に相談していただきたいと思います。

キャリア教育の推進

高等学校は、学力を伸ばす場であると同時に、自らの在り方生き方を考え、自己の進路や将来につなげていく場でもあります。平成二十四年十一月末現在の愛知県の高

校生の就職内定率は約84%と、全国平均よりは高いものの十分な状況とはいえません。県教育委員会では、高校生が勤労観や職業観を培い、主体的に進路選択のできる力を育て、学校から社会や職業へ円滑に移行できるように、全ての高等学校においてインターシップ等を実施するなど、キャリア教育を推進しております。

また、今年の十一月には、全国の専門学校生等の学習成果を集結した「全国産業教育フェア愛知大会」を本県で開催いたします。こうした機会やさまざまな体験を通して、社会の一員としての自覚を育んでほしいと思っております。

これからの高校生活において、お子さまが学習や部活動に積極的に取り組む中で、心身ともに健全な若者として成長されることを願っております。





一宮興道高校(卒)
いいだあきのり
飯田明徳君 (24歳)



プロフィール

愛知県立一宮興道高等学校を平成十八年度に卒業し、駒澤大学に進学、卒業。現在は本田技研工業(株)にて活躍中。

高校時代は陸上長距離で東海大会、名岐駅伝に出演。大学時代には三年時に箱根駅伝初出場。四年時には主将として、箱根駅伝連続出場。第九区を快走し、チームを第三位入賞に導く。さらに秋の全日本大学駅伝では第七区区间賞を取って第二位入賞に貢献。現在は、駅伝等社会人各種大会への出場を目指して走り込んでいます。

陸上、長距離との出会い

中学時代はソフトテニス部でしたが、顧問の先生に薦められ、陸上大会の長距離に出演して以来、陸上競技の楽しさを知りました。

メッセージ

新生活は将来の進路によって変わると思います。私のように高校で目標が見つかるかも知れません。目標が見つかったら中途半端にはなく、本気で向かって頑張ってみてください。きっと後悔しない高校生活が送れるはずです。

高校から陸上を始めました。練習は辛く苦しいものでしたが、試合で成果が出ると大きな喜びを得ました。陸上は自分の努力・頑張りが、そのまま記録として表れ、成長が目に見えてわかる楽しさがあります。

高校時代の抱負、夢

いわゆる文武両道を目指して入学しました。しかし毎日部活動に打ち込んでいくうちに部活動中心の生活になっていきました。やがて目標は「箱根駅伝」、夢は「オリンピック」と考えるようになり、さらに部活動を頑張るようになりました。

新入生の皆さんへ

高校生活は将来の進路によって変わると思います。私のように高校で目標が見つかるかも知れません。目標が見つかったら中途半端にはなく、本気で向かって頑張ってみてください。きっと後悔しない高校生活が送れるはずです。

高校生のネット・タブレットに
ご用心!

愛知県県民生活部県民生活課

近頃、携帯電話やネットに関するトラブルに高校生が巻き込まれるケースが多発しています。

ワンクリック請求

「知らない人から届いたメールに記載されたアドレスにアクセスしただけで出会い系サイトに登録され、高額な登録料を請求された」という相談が多く寄せられています。

このような請求を受けた時

購入の意思がないのに勝手に登録された場合、契約は成立していませんので、料金を支払う必要はありません。

また、請求者の指示のとおり連絡を取ると、個人情報を知らせることになってしまい、長期間しつこく料金を請求される恐れもあります。絶対、連絡しないでください。

家庭のルールを決める

携帯電話やパソコンの使い方について、使用時間や料金、閲覧サイトの制限(フィルタリング)など、家庭でしっかり話し合い、ルール化しておくことをお勧めします。

もっと詳しく学ぶには

「あいち消費生活情報」ウェブサイトでは、楽しく学べる学習コンテンツをご用意しています。皆さんの消費者学習の一助として、ぜひご利用ください。

http://www.pref.aichi.jp/kennin/shohisekatsu/



困ったときの相談先

もし不安に思ったり、トラブルに巻き込まれた場合は、自分で解決しようとしなくて専門の相談窓口にご相談ください。

消費者ホットライン

〇五七〇一〇六四一三七〇
(最寄りの相談窓口につながります。)

スマートフォン専用サイト(イメージ)



事務局 だより

各学校のPTAに加入する保護者の皆様には、愛知県公立高等学校PTA連合会（愛知県高P連）に加入していただいております。組織と活動の概要を紹介します。

愛知県公立高等学校PTA連合会

●会員

愛知県の公立高等学校及び特別支援学校（名古屋市立除く）合わせて176校のPTA会員が加入する組織です。会員数は約12万人余です。

●目的と事業

会員相互の連携と協力を図り、教育の振興充実に寄与することを目的とし、次の事業を実施しています。

- (1) PTA活動の研究・調査及び連絡調整
- (2) 会員の研修
- (3) 教育環境の整備促進
- (4) 児童生徒の安全・健康と福祉の増進
- (5) 広報誌「高P連だより」の発行
- (6) 地区研修会の実施

●会費

（1人年額・円）

年 会 費		高 等 学 校		
特別支援学校		専 攻 科	定 時・通 信	全 日 制
幼・小・中学部	50	100	150	150

平成25年度の主要行事予定

●愛知県高P連総会及びPTA指導者研修会（研修会は県教委と共催）

期日…5月17日（金）

会場…愛知県産業労働センター

●東海地区高P連大会（静岡大会）

期日…6月21日（金）

会場…静岡市民文化会館

●全国高P連第63回大会（山口大会）

期日…8月22日（木）（一日に短縮）

会場…山口県スポーツ文化センター他

●地区別研修会

県内5地区（名瀬・西三・東三・尾張・知多）ごとに開催します。

愛知県高P連見舞金支給制度

●見舞金の支給対象

○児童生徒の学校管理下における災害
○保護者のPTA活動中における災害

●支給要件

○児童生徒が日本スポーツ振興センターに、保護者が愛知県高P連に加入していること。

○高校在学中及び高P連に加入している間に発生した災害であること。

●支給対象外

故意、第三者からの加害事故の場合などは支給しません。

●申請手続き

学校が、日本スポーツ振興センターの支払い決定を受けて申請手続きを行います。

●児童生徒の学校管理下における災害に対する見舞金の額

○死亡見舞金 **500万円**

（登下校中は250万円）

○障害見舞金

日本スポーツ振興センター障害見舞金の20%の金額

○治療見舞金

日本スポーツ振興センターへ申請した医療費総額（給付金請求額合計）が月額7万5千円以上の場合、その8%の金額（千円未満切捨て）

（注）ただし、医療費総額が26万7千円以上の場合には、高額療養費制度に関する計算方法によります。

○香料（管理下外でも支給）

5万円

○供花料（日本スポーツ振興センターから供花料の支払があった場合）5万円

○保護者のPTA活動中における災害に対する見舞金

○死亡見舞金

300万円

○治療見舞金

入院8日～30日 10万円
入院31日以上 20万円

●掛金

○掛金は不要です。平成18年度までで続した愛知県立学校PTA安全互助会の積立金が愛知県高P連に移管され、財源となっています。

全国高P連賠償責任補償制度

●保険の性格と加入生徒数

全国高P連が主催する賠償責任保険です。愛知県高P連に加盟する学校の児童生徒の6割に当たる7万5千人が加入しています。

●補償の対象

日本国内における高校生の生活全般に起因する賠償責任、PTA活動遂行に起因する賠償責任を24時間補償します。

●掛金と加入手続き

年間1人当たり300円。各学校のPTA単位で団体加入します。

●事故の報告

事故が発生したときは、生徒・保護者・PTAからフリーダイヤルに連絡してください。

愛知県高P連高校生総合保障制度

●保険の性格

○愛知県高P連が主催する団体保険です。
○生徒個人が入学時に任意で加入します。
○「自転車総合保険」と「こども総合保険」を合わせ、生徒の傷害と賠償責任について24時間補償します。

●加入者数

○補償期間は高校入学時から3年間です。毎年約30%超に相当します。

●団体割引

団体保険であるため、個人で契約するよりも保険料が30%割引となります。

●示談交渉サービスの開始

平成25年度入学生から、個人賠償について保険会社による示談交渉サービスが始まります。

●加入手続き

3月下旬の合格者出校日に各学校において、募集書類を配付していただいております。申込書を期限までに郵送すれば、入学式の翌日から補償されます。

●事故の報告

フリーダイヤルかインターネットで報告してください。